令和元年６月４日発行

オープン 20 周年記念　北代縄文館　ミニ企画展

新収蔵品展
～黒田コレクションから～

北代遺跡と北代縄文広場

北代（きただい）遺跡は、富山市北西部の長岡台地に位置する縄文時代中期（約 5,000～4,000 年前）を中心とする集落遺跡です。明治 40（1907）年に発見され、富山県の考古学の草分けである早川荘作（しょうさく）氏（1888～1978）により広く知られるようになりました。

昭和 59（1984）年に、北陸の縄文時代中期集落の構造を解明する上で重要な遺跡として国史跡となりました。その後、平成 8～10（1996～1998）年度に整備工事を行い、平成 11（1999）年 4 月に富山市北代縄文広場としてオープンしました。それ以来、約 185 千人の方々に利用され、平成 31 年 4 月に 20 周年を迎えました。

黒田コレクション

黒田コレクションは、現在の富山市北代に生まれた黒田伸一氏〔昭和 15（1940）年没〕が早川荘作氏の教えを受け、北代を中心に採集した土器や石器などの考古資料のことです。

本資料は、平成 31（2019）年 1 月 15 日に黒田伸一氏のご遺族から富山市教育委員会へ寄附されました。（富山市教育委員会 2019）

寄附された資料は、土器（縄文土器・須恵器（すえき）等）290 点、石器等（打製石斧（だせいせきふ）・磨製石斧（ませいせきふ）・石棒（せきぼう）等）117 点の合計 407 点で、縄文及び古代の資料がほとんどで、縄文時代の資料が約 9 割を占めます。

このうち、167 点に採集地が墨書きされ（図 1）、中には採集日や土器の名称だけでなく、採集地の図まで記入されたものもあります。

図1　採集地等が記入された資料

資料の採集地等（表１・図２・表２）

採集地が記入されている資料の約 9 割には、「大畑」「畑」（現在の北代等）という地名が記入されており、現在の北代遺跡で多く採集されたと考えられます。

また、「蜆ケ森（しじみがもり）」と記入されている資料は、現在の蜆ケ森貝塚を含む長岡地区からの採集と考えられ、採集された時期に北代周辺で知られていた遺跡は、北代遺跡と蜆ヶ森貝塚の 2 遺跡です。

表1　資料採集地と現在の遺跡名等

記号	資料に記入された採集地名	現在の地名等（遺跡名）	数
A	「大畑」	北代（北代遺跡）	142
	「畑」		5
B	「蜆ヶ森」	呉羽町北、北代中部（蜆ヶ森貝塚）	5
C	「八町」	北代新、長岡（長岡八町遺跡）	7
	A･B･C以外		8
	小　計		167
	採集地名なし		240
合計			407

さらに「八町」と記入されている資料は、現在の長岡八町遺跡（旧 八町遺跡）を含む地区からの採集と考えられ、長岡八町遺跡が知られるようになるのは、黒田氏が資料を採集された時期から 10 年以上経過した、昭和 29 年（1954）頃からです。（富山大学考古学同好会 1954）

このように、採集地が記入されていることによって、現在確認している遺跡の年代等を検討できるため、遺跡の内容を解明する手掛かりとなる貴重な資料です。

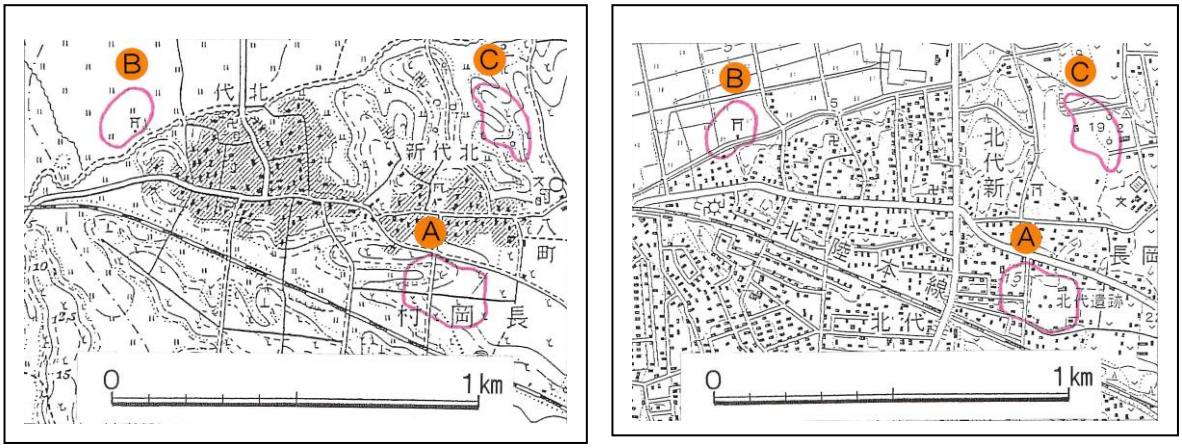

図 2　資料採集地区図
【左図】昭和 9（1934）年・【右図】平成 23（2011）年
（注：赤で囲まれた範囲は現在の遺跡範囲：A 北代遺跡・B 蜆ヶ森貝塚・C 長岡八町遺跡、記号 A・B・C は表1および表2と対応）

表 2　資料に記入のある採集地と資料の内訳

記号	A		B	C	A・B・C以外の地名				
「採集地名」	「大畑」	「畑」	「蜆ヶ森」	「八町」	「大畑堤」	「百童子?」	「八町呉羽山下」	「八口（軒カ）」	「石坂山」
縄文土器	110	4		3	1				
土錘	6			1		2	2		1
土偶	3	1		1					
須恵器	4							1	
土師器						1			
打製石斧	11								
磨製石斧	2								
石棒	1								
石刀	1			2					
骨			4						
貝（化石）			1						
珪化木等	4								
小計	142	5	5	7	8				
合計	167								

主要引用・参考文献（50 音順）

富山市教育委員会　1979　『北代遺跡試掘調査報告書』
富山市教育委員会　2017　『富山市北代縄文広場復原建物等再整備事業報告書』
富山市教育委員会　2019　『富山市の遺跡物語　第 20 号』
富山大学考古学同好会　1954　『蜆ヶ森貝塚調査報告書』
長岡の郷土史編さん会　1966　『長岡の郷土史』
文化財保護委員会　1965　『全国遺跡地図　16　富山県』
八町自治会　2009　『八町村誌』

http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/maibun/index.htm
編集・発行　富山市教育委員会埋蔵文化財センター